



濁川中だより

〒950-3134

新潟市北区新崎 5437 番地

Tel 025-259-2150

学校の様子をHPで更新しています。

<https://blog.city-niigata.ed.jp/nigorikawa/>

「積極的に」「挑戦」。「自分のやるべきことに向き合う」。 ～前期終業式より～

● 1 年

中学生になって、小学生とは違う、いろいろな体験をしました。

体育祭では、先輩たちとはじめて一緒に活動しました。応援練習では、僕は恥ずかしくて大きな声が出せませんでした。なので、来年は先輩方のように後輩を引っ張っていけるように頑張りたいです。

次は部活動です。僕は卓球部に入っています。9月には新人戦があり、なかなか試合に向けての気持ちが入っていませんでした。また、試合では頭を使って戦うことができていませんでした。結果は予選敗退という悔しい結果でした。この悔しい結果を次に活かし、練習から頭を使っていきたいです。

次は勉強面です。テストでは全然良い点を取れず、悔しい思いをしました。取り組みでは好きなことを優先し、勉強を後回しにしてしまったり、提出物が出せなかったりしました。次の定期テストではこの失敗を活かして、立てた計画通りにワークを進めたり、わからないところを友達や先生に聞いたりして、自分の欲に負けないようにします。

以上のことから、後期は人任せにせず、自分からどんな活動でも積極的に取り組んでいきたいです。

● 2 年

2年生が始まったとき、私は「もっと自分を成長させたい」と思い、日々の生活の中で意識的に取り組むことを決めました。そこで特に頑張ったことは、勉強と生活習慣の見直しです。

まず勉強では、毎日の授業に集中することを意識し、わからないところは友達や先生に質問しながら理解を深めました。また、家では復習の時間をできるだけとるようにし、苦手な教科にもあきらめずに取り組むことで、少しずつ自信が持てるようになりました。

生活習慣の見直しでは、特に早寝早起きをしっかりとできるように意識しました。今までは夜更かしをすることが多く、朝はあわててしまう日がよくありました。しかし、朝の時間を有効に使いたいと思い、夜は早めに寝る準備を始めたり、スマホを見る時間を減らしたりするなどの工夫をして、早く寝られる日が増えてきました。最初はうまくいかない日もありましたが、少しずつ毎日のリズムが整い、朝は気持ちよく目覚められるようになりました。そのおかげで、1日を落ち着いて始められるようになり、勉強やスポーツにも前向きに取り組めるようになったと感じています。

このように、前期は「続けること」「あきらめないこと」を意識しながら、自分の目標に向かってコツコツ努力してきました。

後期では、定期テストでいい点が取れるように、前期より集中力を高めて授業に取り組んでいきたいです。また、新たな挑戦として合唱祭の指揮者を務めます。私はこれまで人前に立って指示を出すような役割をあまりしたことがありませんでした。大変なことはたくさんあると思うけど、大変だからこそやりがいがあると思うので、指揮をすることが楽しみです。歌う人も聞いている人も楽しめるような合唱にするために、みんなをしっかりとまとめながら、上手に指揮ができるように頑張りたいです。

前期に頑張ったことを自信にして、後期も新しいことにどんどん挑戦していきたいです。

● 3年

僕は前期で1、2年生の頃よりも成長できたと感じました。

その中でも特に成長と感ずることができたのは、自分のやるべきことをしっかりとするということです。僕は、1、2年生の頃自分のやるべきことを後回しにしたり、やらなかったり自分のやるべきことをしっかりと考えないという癖のせいで、先生に怒られたり、仕事がたまったりいろいろな損をしてきました。

そして、春3年生になったときに受検のことを考えると、今のような怠けてやるべきことを後回しにする癖を直さなければ受験勉強なんてできるはずがないと思ったので、勉強をするために生活の中で後回しにしないという目標を立てました。その目標で前期を過ごして、僕は完璧とまではいかないけど自分の悪い癖を少しは直すことができたと思います。その効果が出たのは「いじめ見逃しゼロ運動」の班長としての仕事や、合唱祭のパートリーダーなどで周りの人をまとめたりするというのをしっかりとやりました。

まだ完璧に自分の悪い怠け癖が直ったわけではないのでこれから後期で高校までという短い期間ですがその悪い癖を直せるようこれからも頑張っていきます。

学級・学年で歌うということ～合唱祭～

昨年度から賞を設けるコンクール形式ではなく、それぞれの演奏を発表する合唱祭の形になりました。また、今年度は互いを価値づけるための賞ではなく、各クラスの今までの取組の様子や当日の演奏を聴いて、一人ひとりがリアクションを返す“リアクションポスター”の作成を通して、互いの取組を認め合う活動としました。当日は、生徒の演奏を聞かれた来賓、ご家族の皆様からもリアクションカードの記入をご協力いただき、感謝申し上げます。

どのクラスも、学級目標に到達する自分たちの姿に近づくために、合唱練習を工夫しながら取り組みました。合唱協調週間では、各クラス、学年とも試行錯誤しながらよりよい演奏を追求しました。当日は、それぞれの想いがこめられ、訴えかける演奏となりました。





PTA の活動より

10月22日（水）教育講演会（講師：NAMARA 森下英矢様、大野まさや様）

アルビレックスのスタジアム MC をされたり、ラジオや地元企業の CM にもご出演されたりしている NAMARA のお二方から、「勉強のススメ」というテーマでお話いただきました。ユーモアを交え、ご自身の経験を踏まえてお話をされ、生徒にとっては、学ぶということについて改めて考えるきっかけとなりました。



【生徒の感想より】

- ・ 勉強＝いい大学に入る、いいお金を稼ぐではない、ということが一番残りました。勉強は出来なくても、いいやり方を学ぶということも響きました。
- ・ 勉強は、いい高校とかに行きたいからするものだと考えてたけど、勉強は楽しいことをもっと楽しくするためにするためなんだなーと思い、勉強への価値観がよくなりました。
- ・ 自分を作る作業をするのが大切とおっしゃっていました。私は優柔不断で人に判断を任せてしまったり、「好きな～」が決まらなかったりすることが多いのです。これからは、自分で判断したり決めたりすることを意識して生活していきたいです。
- ・ 自分はよくリーダーみたいな役職に就くことが多く、みんなに指示を通すことが難しい時もあるけど、前向きな言葉をかけてあげれば自然と人はやる気になるし、その人の人生の手助けになることもあるかもしれないから、これから人と話すときは意識しようと思った。また、いろんなことをやったり興味を持ったりすることは大事なことで、そのためにも勉強はあると学んだ。